NIE実践報告

1．タイトル：**読み解くNIE**

2．学校名

広島県広島市立沼田高等学校

3．実践者名（代表者名）

竹内功

4．学年

第1・2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　約560人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読むこと

7．目標（狙い）

読者からの投稿欄に載った「大人用おむつの使用法」に関する記事を巡っての論争を考察することで、「知ること」「読むこと」の大切さを学ぶ。

8．評価の視点

様々な意見や考えを知ることで、視野を広げることができる。また、新聞の持つメリットに気づき、これから興味を持って新聞を読むことができるようになる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

本時のみ　1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

〈導入〉
①論争の元である大人用おむつを紹介し、生徒の興味・関心を高める。
〈展開〉
②新聞記事を読み、記事の内容について理解し、自分なりの感想や意見を持たせる。
③同じ人が投稿した記事を読み、自分の持った考えや意見と照らし合わせ、記事の内容が広がったことを理解させる。
〈まとめ〉
④初め記事を読んだときと、最後まで記事を読んだときと、自分の気持ちをが変化していること、あるいは変化しないまでも記事から多くの知識を得たことに気づかせる。
（留意点）
・洗髪におむつを使用することに対する賛否に終始させない。
・様々な意見や考えを知ることができるという、新聞の持つメリットに気づかせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

素材が身近でインパクトのあるものだったため、前向きに取り組み、教師の発問にもよく反応した。おむつを使って洗髪をすることが論争になっていることを知らない生徒の多いことも、興味・関心を持続させることにつながった。特に、看護福祉系の進路志望の生徒や祖父母と同居している生徒は熱心に取り組んでいた。

12．成果と課題

担任教師の個性あふれる授業展開で、それぞれのクラスで多彩な授業が展開され、生徒にとっても興味深いものになった。授業者からも「やってよかった」と肯定的な評価を得ることができた。
今回の取り組みは「読むこと」「知ること」の大切さを知るよい動機づけとはなった。しかし、継続的に行ってこそ、生徒の新聞の読み方に変化が現れるという指摘を授業者から寄せられた。今後は総合的な学習としてだけでなく、教科にも実践を広げていく必要がある。